学校番号	1010

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新・社会と情報　（日本文教出版）						
副教材等	校内作成教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

座学で知識を得るだけではなく、コンピュータを使った実習や発表・グループワークなどの体験的な学習を通じて「情報」や「情報社会」に対して理解を深め、情報社会に積極的に関わっていけるような力をつけることを目標とした授業です。

２　学習の到達目標

・「情報」や「情報社会」に関連するさまざまな知識を得る。
・「情報」をうまく活用するためのスキルを身につける。
・問題意識を持って情報社会に積極的にかかわる態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報や情報社会に強く関心をもつこと ・身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用すること ・社会の情報化の進展に主体的に対応しようとすること	・情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために科学的な見方や考え方をする力 ・情報モラルを踏まえて試行を深め、適切に判断し表現する力	・情報および情報技術を活用するための基礎的・基本的な儀網を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱う力	・情報および情報技術を活用するための基礎的基本的な知識を持つこと ・社会における情報及び情報技術の意義や役割の理解
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート・発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート・発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 課題制作 発表 実技テスト 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査 小テスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	情報社会に生きるわたしたち	○情報社会と コミュニケーション ○情報の収集と信憑性の判断	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:情報社会やメディアに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:メディアとの関わり方、個人情報の適切な扱い方、情報の信憑性などについて考えることができる。 c:電子メールの送受信や SNS への情報発信することができる。 d:メディアの種類や個人情報の保護、情報モラルの必要性について理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 定期考査
	法とセキュリティ	○知的財産とその保護 ○情報セキュリティ	○ ○	○	○	○ ○	a:知的財産・セキュリティについて関心をもち積極的に調べる学習に取り組もうとしている。 b:知的財産について、どのような時にその侵害となるのか判断ができる。著作権の侵害と正しい著作物の利用方法について考えることができる。 c:レポート作成の際、著作物の引用を正しい手順で行うことができる。 d:知的財産権の分類と内容を理解している。情報セキュリティ技術について理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 レポート 定期考査
	実習	○ポスターや Web ページによる情報伝達	○	○	○	○	a:情報の伝達や課題作成に関心をもち、積極的に取り組もうとしている。 b:目的や対象に応じて表現やデザインの工夫ができる。 c:目標や対象に応じてポスターなどが作れる。計画を立てたとおりに作業を進めることができる。 d:それぞれの方法で情報を表現する際に必要なことを理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 レポート

二学期	情報社会とディジタル技術	○コンピュータと ディジタルデータ ○ディジタル表現 ○インターネットの仕組み	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:情報のディジタル化・情報機器の接続・2 進法・情報のディジタル化に関心を持っている b:ディジタル機器やディジタル化の利点や問題点について考えることができる。 c:情報機器の接続・2 進法の計算・情報のディジタル化を適切に行うことができる。 d:アナログとディジタルの概念と違いを理解している。2 進法と 10 進法で数を表現する方法を理解している。情報のディジタル化について理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 定期考査
	情報社会と問題解決	○情報格差 ○問題解決	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a: ユーザビリティやアクセシビリティの確保に興味をもち、率先して問題解決の実習に取り組もうとしている。 b: 問題解決のための手段を適切に判断できる。情報収集・整理・分析に必要なものを考えることができる。 c: 問題解決のための手段を選択できる。検索エンジンの利用やアンケートの実施などを適切に行うことができる。 d: 社会における情報システムの種類と内容について理解している。問題解決の手順と解決するための工夫を理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 定期考査

二学期	実習	○企画書作成 ○プレゼンテーション	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 情報の伝達や企画書作成・プレゼンテーションに関心をもち取り組もうとしている。 b: 目的や対象に応じて表現やデザインの工夫ができる。プレゼンテーションのためにストーリーを構成することができる。 c: 目標や対象に応じて企画書等が作れる。計画を建てたとおりにプレゼンテーションスライドを製作し発表できる。 d: 情報を表現する際に必要なことを理解している。企画書作成やプレゼンテーションに必要な要素を理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 定期考査
三学期	情報社会と情報システム	○様々な情報システム モデル化とシミュレーション ○アルゴリズムとプログラム	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 身の回りの様々な情報システムに関心をもち、仕組みを理解しようとしている。 b: ものごとや現象の本質的な部分を単純化し、ほかの方法で表すことができる。 アルゴリズムを理解し、自分で表現できる。 c: コンピュータを使用して、モデル化やシミュレーションができる。 アルゴリズムに基づいて、プログラミングができる。 d: 情報システムの仕組みを理解している。アルゴリズムを理解し、プログラミングの知識を持っている。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 定期考査

※生徒の興味関心や取り組み状況により，順序と内容について一部変更を加えることがある。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解